

「どこでも市長室」でいただいた意見等

日 時	令和 2 年 2 月 26 日（水） 13:30～15:00		
会 場	法泉寺保育園	申込団体名	法泉寺保育園
参加者の意見 (1/3)	●「街なか」を活性化する話があるけれど、砂沼サンビーチは「街そと」であって、外周が揃ってくれば、逆に、街なかは発展すると思います。 ●年間の保育計画の中で、運動会が終わった後まで鼓笛隊を維持させるのに、砂沼フェスティバル開催は大きいものがあります。砂沼フェスティバルは、子どもたちや保護者にとっても、発表の機会だし、出店するお店も楽しいので、続けてもらえれば良いと思います。 ●昨年のクリスマス会は、市民文化会館で行いましたが、250 人の子どもの保護者の方も来ると、700 人くらいの席が埋まるのです。文化会館がなくなるのはすごく痛手なので、ぜひとも存続してほしいです。 ●昨年のクリスマス会は、市民文化会館で行いましたが、立ち見のお客さんも含めて1,000 人くらい来てくれたという話も聞いています。あの1,000 人規模の会場で、子どもたちも先生たち職員も人の前に立てるという経験がどれほど大きいのかと思います。とりあえず、来年度は千代川公民館を使って、300 人用の会場で、進み方を考え直します。千代川公民館も、中を見させていただいた時は、すごく立派な施設で、使わせていただくのですが、保護者の方からも市民文化会館のことを言われます。結城市のアクロスやつくば市の NOVA でという声も聞くのですが、法泉寺保育園としては、移動とかも厳しいし、土地勘もないので、下妻市にそういう施設があればと思います。 ●発表会が一年間、子育ての励みになるという話で、私たち職員にとっても、磨きと言うか、勉強の場でもあるので、早くお金を貯めて、施設を整備してもらいたいです。 ●消防署が近くにあるといいです。この近辺一帯で、市庁舎や文化会館、消防署、公民館が揃っているというのはメリットで、すべての公共施設が一つにまとまるというのは、逆に使いやすいです。 ●子どもがシモンちゃんバス乗りたいと言うのですが、上妻地区からシモンちゃんバスに乗るためには、車でバス停まで行く必要があります。シモンちゃんバスの路線が、下妻地区だけではなくて、他の上妻地区や総上地区にも広がるようになると、もう少し利用しやすいと思います。		

参加者の意見
(2/3)

- 高齢者のドライバーのニュースを見て、私も年をとった時に、車の免許を返納することになってしまったら、お買い物に行くのにも、何で行ったらいいのかなという、先ゆく不安も少しあります。住んでいるところが郊外で、バス等の交通機関が何もないので、そういうものが充実していれば、免許の返納もしやすいと思っています。
- 常総線を利用すると、水海道止まりの列車が多くて、東京から帰って来ると、下妻まで来る列車が少なくなってしまうのです。せめて、下妻まで来てもらえるとありがたいです。常総線を使う人が多く、快速が増えると、東京への通勤圏が下妻まで広がると思います。
- 民間の保育園は、月曜日から土曜日までで、月曜日は朝の7時半から19時まで保育しています。それで、土曜日の保育の要望もあり、7時半から18時半までで、希望者は1人～2人の状態ですが、保育を行っています、公立保育園は12時半で終わってしまうのです。市役所のホームページでは、入園希望の案内で、土曜日の18時半まで預けたいという人がいても、市はやらずに、最初から足切りになっているようです。本当は、市が先駆的に、長時間保育に向き合わなければならないのに、結局、民間へと言われるのです。そういう変則的な保育については、公立保育園で先駆けて行ってもらいたいと思っています。
- 国で考えていることと、現場でやっていることが違うのです。標準教育といったら、11時間なのですが、我々の労働時間は8時間です。そうすると、11時間では、8時～17時の職員では対応できません。現実的に、例えば、7時半から16時半の労働時間と、10時から19時までの労働時間になります。そうすると、それを正職員でやっていたら、財政的に追いつかないです。それで、非正規職員を使うという国の発想が、我々は、おかしいと言っています。貴重な、大切な時間でやってくれる人を継ぎ接ぎしていかなければ、11時間保育というのはできないのです。だから、我々は、子育て支援課に保育士さんの給料が低いと伝えて、処遇改善というのが出るようになったのです。それを出すためには、研修に行ってきたと。そうすると、職員の処遇を改善するのに、何でこんなに細かい書類を作らなくてはならないのか、というくらいの、面倒くさい書類の提出を求められます。1回出して戻ってきました、もう1回ここを直してくれ、また出しました、県に出したら、また戻ってきました。そこまでやらないと、保育士さんの処遇改善ができないのかという、現実の話です。他の市町村でも、だんだん保育士が不足してきて、基本は処遇の改善が必要で、それをいかにするのかは、市町村の補助というのもいただければと思います。

参加者の意見 (3/3)	●一番大切なのは、保育の充実だと思うのです。保育園の経営状態を見て、補助等を配慮してくれるのを、少しでもやってもらおうと張り合いが出ます。一生懸命みんな頑張ってくれているので、それで報われると良いかなと思います。なんとか、職員を正職員で雇えるという形にしているので、そういう状況を市長さんに分かってもらえれば、市内でもこういう保育園もあるというのがあって、そういうところで配慮をいただければ、さらに嬉しいなと思うのです。 ●来年度のことで、子育て支援課から、二次募集できた3歳児を1名入れてくれと言われました。その子を入れると、子どもと先生の比率が15対1で国から加配が来るのですが、産休に入る職員がいるので、そうすると、1名多く職員を取る必要があります。子どもの数・補助率の人数の他にプラス1名で代替えをやっていきますので、来年は代替えの先生もいるのですが、職員がいないと、子どもも取れないという状況です。本当に、保育士になりたいという先生がいっぱい増えてもらいたいです。 ●例えばここに、1,000万円の資金があって、10名の正職員でやっていけば、正職員の先生の給料が高くなります。1,000万円を15名にして、5名はパートさんにすると、一人あたりの給料は少なくなるけれども、逆に働きやすい環境ができます。子どもの受け持ち人数を少なくする、休暇が取れる。働きやすい環境は、給料だけではないけれども、逆に言えば、そういう環境を作るのには、資金も必要だということです。だから、その辺のやり繰りというのは、いかにそれを有効に、お金を使って回していくかということだと思います。
-------------------------	--

市民協働課 扱